



19

自治医科大学附属 さいたま医療センター

研修プログラムの 特色

創立以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れ、一貫してスーパローテーション方式の研修実績を積み上げてきました。Common Diseaseの研修を決しておろそかにすることはなく、稀有な疾患や最先端の医療技術を駆使した高度医療を必要とする症例にいたるまで多彩な疾患の診療に当たっています。一般プログラムは、総合医学オープン、内科、外科、救急、外科系専門の5コースから選択できます。将来、皆さんが、どの専門診療科を専攻することになっても、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための研修構成になっており、5つの特色があります。①厚生労働省指定の必修分野に加えて、麻酔科研修を必修としました。②全ての臓器別内科と総合診療科を研修します。③地域医療と一般外来を並行研修の8週間とし、Common diseaseの外来診療を十分に経験します。④研修期間を通じて週1回の救急研修を継続することで、初期診療能力の足腰を鍛えます。⑤オプションは、皆さんが希望する研修内容を個別に取り入れるように柔軟に対応します。豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。



一般研修プログラム（募集定員 24名）

プログラム例	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年目	オリエンテーション	救急(8週)	内科(4週)	内科(4週)	内科(4週)	内科(4週)	内科(4週)	内科(4週)	内科(4週)	内科(4週)	内科(4週)	内科(4週)	外科(8週)
2年目	精神科(4週)	地域・一般外来(8週)	産婦人科(4週)	麻酔科(4週)	小児科(4週)	オプションA(4週)	オプションA(4週)	オプションA(4週)	オプションA(4週)	オプションA(4週)	オプションA(4週)	オプションA(4週)	オプションA(4週)

- ・ローテーションは順不同です。
- ・採用後に行うオリエンテーション終了後は、第2クールのローテーションでの研修を開始します。
- ・救急科はブロック研修に加え、週1回の日当直研修を通年で実施します。
- ・オプションAは自治医科大学附属さいたま医療センターの診療科から選択します。
（「総合医学オープンコース」以外のプログラム・コースには、協力病院での研修も選択できる「オプションB」の研修期間があります。

研修医の 処遇

給与 1年次：42万円/月、2年次：48万円/月（時間外手当を含む）
賞与（1年次：約42万円/年 2年次：約67万円/年）
手当 地域手当、日当直手当、時間外手当、期末手当
保険 日本私立学校振興・共済事業団（健康保険・年金） 雇用保険あり
労災保険 医師賠償責任保険（初期研修の2年間のみ）
勤務時間 8時30分～17時15分
但し、研修先の診療科等により前後することがある
当直 あり（約4回/月）
休暇 有給休暇（1年次：15日、2年次：20日）
土・日曜日、祝日、年末年始、夏期休暇等
その他 あり

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・さいたま市民医療センター
- ・さいたま赤十字病院
- ・埼玉精神神経センター
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・大宮厚生病院
- ・自治医科大学附属病院
- ・秩父市立病院
- ・JCHO さいたま北部医療センター
- ・大宮双愛病院
- ・南魚沼市民病院

医師数（研修医除く） 292名（うち指導医数 95名）
病床数 628床
研修医数 1年目 30名 2年目 30名
昨年度マッチング受験者数 154名
研修医の主な出身大学 秋田大学、旭川医科大学、愛媛大学、金沢大学、北里大学、群馬大学、高知大学、埼玉医科大学、佐賀大学、滋賀医科大学、自治医科大学、順天堂大学、昭和大学、信州大学、聖マリアンナ医科大学、帝京大学、東京医科大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東京大学、東邦大学、東北大学、獨協医科大学、新潟大学、日本大学、弘前大学、広島大学、福島県立医科大学、山形大学、山梨大学、横浜国立大学（五十音順）

診療科 総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、内分泌代謝科、血液科、リウマチ膠原病科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、放射線科、病理診断科、救急科、一般・消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、眼科、産婦人科、皮膚科、形成外科、麻酔科

1日平均外来患者数 1,549名
1日平均入院患者数 524名
主な認定施設 災害拠点病院、エイズ拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、救急救命センター、地域医療支援病院



当院の魅力

総合医療と専門医療の一体化とその実践を目指します

自治医科大学附属さいたま医療センターは、さいたま市及びその周辺を含む埼玉県中央部における中核医療施設として市民病的な役割を担っているとともに、大学病院として高度専門医療の提供も重要な責務としています。

開設当初は自治医科大学卒業生による総合診療の基幹病院としての役割と急性期循環器疾患に対する高度先進医療の提供を中心としておりましたが、現在では全ての専門分野において最先端の高度医療を提供する施設となりました。しかし、設立目的の1つである総合診療の実践と総合医の育成についての努力も脈々と続いており、大学病院では経験することの少ない所謂 Common Disease の診療も決しておろそかにすることはなく、また一方では大学病院として一般の市中病院では診られない稀有な疾患や最先端の技術を駆使した高度医療を必要とする症例に至るまでの多彩な疾患の診療にあたっております。

当センターでの研修は、長年の地域医療の経験に基づいた総合医療の基盤に立つ指導と、それに続く高度専門医療の研修を可能にしていることなど多くの特徴があります。中でもそれぞれの専門領域で第一線に立つ専門医が、本学の建学の精神に基づき、総合診療の重要性を理解してそれぞれの専門領域という壁を立てずに研修指導に当たっていることが最も大きな特徴です。

また、さらに良質な研修を提供できるように、意欲のある若い医師の期待に応える研修体制の改善に努力を続けております。
来年の春に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



研修責任者 から



卒後臨床研修室長
大河原 晋

入職時には、シミュレーション、シャドーイング、電子カルテ、ICLSなどの実習からなるきめ細かなオリエンテーションがありますので、臨床研修を円滑に開始できます。ここに示した特色あるプログラムによって、「患者にとって最善をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とそれを実践する幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性に基づいた優れた臨床能力を発揮できる医師を養成していきます。

これらの研修プログラムは、卒後3年目以降の専門研修プログラムとも連動しており、各専門医の取得だけでなく、大学院へ進学し、学位（医学博士）を取得することも可能です。

当センターの研修医は、全国から集まります。様々な情報を研修医間でも共有し、卒後臨床研修室との意見交換を通じて研修プログラムの見直しを行っています。

豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。

先輩研修医 から



研修医2年目 豊田 直毅

当センターの魅力は大学病院の専門性をもちながら common disease の経験値をつけられることだと思います。特に救急当直では研修医1年目と2年目がペアになって first touch で対応しているので先輩研修医や経験豊富な救急科ドクターから教えてもらいながら実践の力が身につけられます。また研修医同士の仲が良く、勉強熱心な人が多いので、至る所で自主的な勉強会が開催されています。当直で経験した症例の復習や気になるテーマを気軽に同期とディスカッションしている時間は非常に充実感があり、本当にこの病院に来てよかったと感じています。

研修医2年目 中田 雄也

研修医は2学年合わせて60人おり、全国各地から集まっています。学閥がないため居心地がよく、身近に研修医がいるのでお互いに励ましあい、切磋琢磨し合いながら研修することが出来ます。週に1回の総合回診に加え、各自で積極的に勉強会も開催しているので高いモチベーションを保つのに最適な環境です。病棟では週1回程度の分担制で処置当番があり、私が1年目の慣れない時期は2年目の先輩方に何度も助けて頂きました。救急外来でも多くの手技の経験が可能です。いきなり1人で手技を経験するのはなく身近に頼れる先輩方がいるのも当センターの魅力であると思います。

女性医師 支援コーナー



次世代を担う医師のキャリア形成が出産・育児等により中断されることがないように就業継続のための短時間勤務制度があります。全職員対象の育児短時間勤務（所定勤務時間内において30分単位で2時間まで勤務時間を短縮）と、医師対象の短時間勤務（週20時間勤務。午前・午後をそれぞれ4時間とし、週20時間になるよう組合せ）があります。2022年10月1日現在も9名の女性医師が短時間勤務制度を利用しています。また、職員の子の育児を支援するため、院内保育所、病児保育所を設けています。更に、育児中は（申請により）当直についても配慮しています。また、センター一丸となって、「医師の働き方改革」に取り組んでいます。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- * オンライン説明会を実施しております。
 - * 病院見学は随時受け付けています。
- 当センターホームページ（卒後臨床研修室のページ）をご覧ください。

連絡先	自治医科大学附属さいたま医療センター 卒後臨床研修室
住所	〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847
TEL	048-648-5225（直通）
FAX	048-648-5166
E-mail	rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp
URL	https://www.jichi.ac.jp/center/learn/sotsugo/kengaku.html
アクセス	JR大宮駅東口からバスで約10分

